

## 日程表:第2日目 2009年10月18日(日)

	メインホール (1002名)	A会場 (231名)	B会場 (231名)	C会場 (145名)	D会場 (145名)	ポスター 会場
8:30						
9:00		<b>シンポジウム8</b> 9:00-10:25 一番大切なことは！経験？ エビデンス？ハート？etc. 病院薬剤師ががん疼痛患者 さんの在宅を目指す	<b>シンポジウム10</b> 9:00-10:25 在宅緩和ケアを支える 薬剤師と薬局の展望			掲示
9:30	<b>招待講演1</b> 9:30-10:30 難治性疼痛の緩和に 向けた基礎研究からの アプローチ			<b>口頭発表11</b> 9:30-10:30 チーム医療	<b>口頭発表13</b> 9:30-10:30 がん薬物療法関連	閲覧
10:00						
10:30	<b>特別講演2</b> 10:45-11:45 患者の苦痛と向き合うこと	<b>シンポジウム9</b> 10:30-11:55 神経障害性疼痛の 基礎と臨床	<b>シンポジウム11</b> 10:30-11:55 抗がん剤誘発末梢神経障害 の発生メカニズムと対処法	<b>口頭発表12</b> 10:30-11:30 在宅医療	<b>口頭発表14</b> 10:30-11:30 地域連携 / 緩和医療教育	
11:00						
11:30						
12:00						
12:30	<b>ランチョンセミナー6</b> 12:15-13:15 がん性疼痛治療における アセトアミノフェンの役割	<b>ランチョンセミナー7</b> 12:15-13:15 緩和医療に関わる頭痛の 診断と治療	<b>ランチョンセミナー8</b> 12:15-13:15 オピオイドローテーションの 適正化における 薬剤師の役割 - 薬物動態学的視点から みた臨床へのアプローチ -	<b>ランチョンセミナー9</b> 12:15-13:15 消化器癌の集学的治療に おける疼痛緩和を考える	<b>ランチョンセミナー10</b> 12:15-13:15 薬剤師からみた 終末期がん患者の 代謝栄養管理 -特に機能回復症状 改善食品の効果を中心に-	
13:00						
13:30	<b>招待講演2</b> 13:30-14:30 緩和医療と麻薬行政	<b>シンポジウム12</b> 13:30-14:45 遺伝子多型から考える がん治療と緩和医療	<b>シンポジウム13</b> 13:30-14:45 次世代チーム医療の 新たなる取り組み	<b>口頭発表15</b> 13:30-14:30 疼痛管理 / 副作用・相互作用	<b>口頭発表16</b> 13:30-14:30 オピオイドローテーション / 地域連携	示説 13:30-14:30
14:00						閲覧
14:30						
15:00	<b>会員総会</b> 15:00-15:45					
15:30	<b>閉会式</b> 15:45-16:15					撤去
16:00						
16:30						

\* 日程、シンポジウム演題名等は予告なしに変更することがあります